勝利に与る、祈りの勇者たち

とりなしの祈り⑦ 創世記1章~3章

私たちは、天地創造の神様がお造りになった世界に生かされています。しかしこの 世界の現実は、神様のみこころ通りではないことが多いのも事実です。

原因は、神様が人に与えられた世界を治める権威を、人は罪によってサタン(悪魔)に 盗み取られたことです。今、この世界は、サタンが支配権を持っているのです。

しかし、イエス・キリストは十字架の血の代価を払って、この支配権を取り返して下さいました。ですからサタンはイエス・キリストにあるクリスチャンに侵入することはできかません。しかし主の忠実なクリスチャンがキリストの名によって祈り、神の権威を主張しない限り、いつまでもサタンの影響を受け続け、サタンにいいようにやられてしまいます。そして、この事に気付いている者は少ないのです。

サタンは災いや苦しみによって私たちを信仰から離れさせ、キリストにある権威を 奪い取ろうと狙っています。ですから私たちは祈りにおいて、イエス・キリストの名に より大胆に闇の力と戦うことが必要なのです。

聖書の学び

I、人が失った権威

- 1、始めの人アダムは、神様からどのような役目をもって、造られた のでしょうか。(創世記1:26) 海・空・家畜・地のすべてのもの・地の上を這うすべてのもの
- 2、善悪の知識の木の実を食べて、失ったものは何でしょうか。

(創世記2:17)

- ①エデンの園から追放された・・・ 永遠に生きることがないように。(創世記3:22~24)
- ②神の前に、死んでいる者(エペソ2:1)
- ③サタン(空中の権威を持つ支配者)の権威に従って歩む者に成り下がった。
- 3、イエス・キリストが来られるまで、人間はこの世の支配者サタンに について、隠されていて、分かりませんでした。

- ①ヨブ記には、神様とサタンの話合いと、サタンによるヨブへの災が記されている。 ヨブはその事が分かりませんでした。(ヨブ記1:6~12)
- ②ダニエル書にはダニエルの祈りの応えとして、天使が戦ったことが書かれています。その相手はペルシャの君でしたが、それはサタンのことです。

(ダニエル書10:20)

③旧約の預言者たちは目に見える、偶像礼拝や外敵、律法を守らない者への警告を 発しましたが、その背後のサタンの存在について、あまり知らされませんでした。

Ⅱ、イエス・キリストの権威

1、アダムが罪を犯したとき、神様が蛇に言われた預言を見ましょう。

創世記 3 : 15·・・「彼はおまえの頭を打ち、おまえは彼のかかとを打つ」

(女の子孫=イエス·キリスト) ◆ ヘブル語

ヘブル語

頭=「主権」「権威」、

打ち、 踏み砕き = 「粉々に打ち砕く」の意味 (2017訳) (第3版)

- 2、イエス様の歩みを見ていきましょう。
- ①イエス様がバプテスマを受けた直後、何をされましたか。負けた悪魔はどうしましたか?(マタイ4:1~11)
- ②イエス様の伝道の方法は、どのようなものでしたか?(マタイ4:23~24)
- 3、コロサイ2:15を読みましょう。

様々な(サタンが持っている)支配と権威の武装を、(キリストが)解除し・・・

Ⅲ、二種類の祈り

- 1、私たちの祈りは、大きく二つに分けることが出来ます。
- ①神を賛美し、礼拝し、願い求める祈り
- ②キリストの権威を主張し、みことばの剣によって、サタンと戦う祈り(エペン6:17)